

議会だより

# URESHINO うれしの

# No.27

平成24年10月26日発行

9月議会  
ニュースライン



▲楽しい運動会（井手川内保育園）

景観条例で討論	市政を問う（13名が論戦）	いじめ対応の委員会を設立	平成23年度決算を認定
	一般質問	補正予算	決算
P8	P12	P6	P2

発行＝嬉野市議会 編集＝議会広報編集特別委員会

〒849-1492佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲1769 TEL.0954(66)9127 FAX.0954(66)2887

# 一般会計 6億3339万円の黒字

# を認定



▲改修された嬉野橋

## 主な財政指標

区分	平成23年度	平成22年度
財政力指数	0.386%	0.401%
実質収支比率	6.9%	5.4%
経常収支比率	86.2%	85.0%
公債費率	9.9%	10.2%
公債費負担比率	12.9%	13.1%
起債制限比率	9.0%	9.0%

### 財政指標の用語の説明

#### 財政力指数とは

基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値で、指数が1を越える場合や1に近づくほど財源に余裕がある。

#### 経常収支比率とは

義務的性格の経常経費に、地方税・地方交付税等を中心とする経常一般財源収入がどの程度充当されているかで財政構造の弾力性を判断する。

#### 公債費率とは

地方債の元利償還金の一般財源に占める割合。財政運営上10%を超えないことが望ましい。

平成23年度一般会計決算状況は、歳入134億4747万円（前年度比3・7%増）、自主財源比率32・9%（前年度比1・8%増）、依存財源比率67・1%（前年度比1・8%減）となり、わずかながら自主財源比率が増加した。

歳出は、128億1407万円（前年度比3・1%増）、要因として、人材派遣のほとんどが非常勤嘱託職員として直接雇用となり、人件費9・30%増、物件費は6・3%減となった。

特別会計・国民健康保険については、歳入は23年度から税率を改定したことで、保険税の徴収率が前年度比3・08ポイント上がり、6092万円増加したものの、歳出は後期高齢者支援金や介護納付金等が増加し、赤字分が前年度と合わせて1億3361万円となり、翌年度予算から繰上充用がなされたが、制度の抜本的見直しが必要と思われる。農業集落排水は、歳入

が五町田・谷所地区の事業量減により国庫補助金市債が大きく減少した。歳出は事業費と公債費で、実質収支額1万4千円の黒字である。

公共下水道も内容は同様で、実質収支額445万2千円の黒字である。

嬉野温泉公衆浴場は、実質収支額484万9千円の黒字となっているが、一般会計からの繰入金1462万7千円の精査が必要である。

# 平成23年度 一般特別水道事業 会計決算

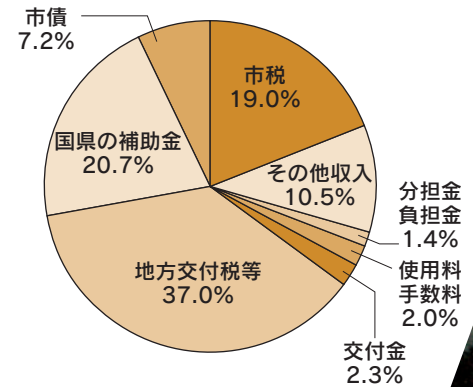
各会計決算の状況

[単位 万円]

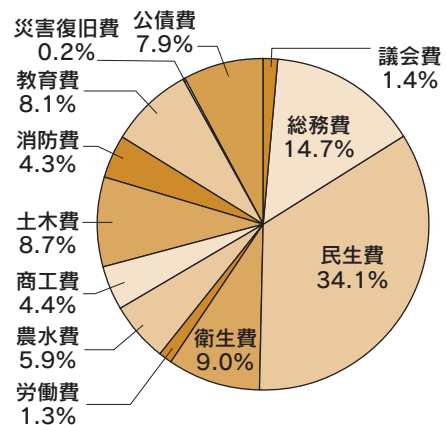
会計名	総収入	総支出	差引額	
一般会計	134億4747万円	128億1407万円	6億3339万円	
特別会計	国民健康保険	40億9836万円	▲1億3361万円	
	後期高齢者医療	2億9787万円	137万円	
	農業集落排水	9億6091万円	1万円	
	公共下水道	3億3484万円	530万円	
	第七土地区画	2億7629万円	1364万円	
	第八土地区画	1億7788万円	7万円	
	嬉野温泉公衆浴場	4742万円	485万円	
	水道企業会計	収益的収支	経費支出	残高
		6億9141万円	6億2198万円	6943万円
資本的収支		工事費償還金他	留保資金より支払い	
		1億1948万円	3億4400万円	2億2452万円

## 一般会計の状況

歳入 134億4747万円



歳出 128億1407万円



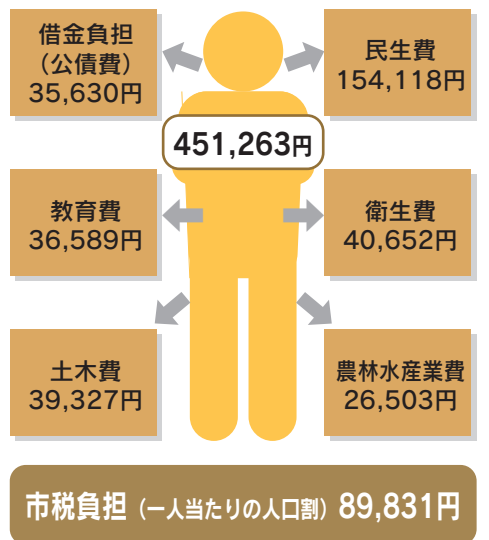
一般会計とは、市税や地方交付税等を主な財源として、人件費、扶助費等の基本的な経費を組み入れて計上した会計で市の予算の中心となる。特別会計とは、国保のように、特定の人たちがお互いに助け合うことを目的とした事業や、農集排事業のように限られた人たちが利益を受ける事業で、利益を受ける人たちが負担するお金を中心に運営される。公共下水道、第7・第8土地区画、温泉公衆浴場等がある。

一般会計と特別会計の相違点は

収益的収支とは 水道事業会計は、民間会社と同様で、水道事業の経営活動で発生する料金収入などの収益（収入）と、それに対応する製造経費、人件費や固定資産の減価償却費などの費用（支出）が計上される。資本的収支とは 水道事業会計において、経営規模の拡大に係る資産の取得に要する経費や、企業債の元金償還金などの支出と、一般会計補助金や企業債などの収入が計上される。

収益的・資本的収支とは

市民 (28,396人) 一人当りにすると  
平成23年3月末現在





▲市税収入に努力している収納課

## 貯金はこれだけ

基金の内訳	
貯金の項目	平成23年度末
財政調整基金	17億 790万円
減債基金	10億5132万円
地域づくり推進事業基金	4億8636万円
ふるさと応援寄付金基金	387万円
地域福祉基金	4億6405万円
ふるさと水と土保全対策基金	2041万円
公共施設建設基金	9億4345万円
学校建設基金	2億5971万円
奨学資金積立金	4089万円
人づくり振興基金	5000万円
下水道事業基金	1億3708万円
合計	51億6507万円

本年度の市税全体の状況は、徴収率が前年度より0・78ポイント向上、現年課税分で1・15ポイント、滞納繰越分で5・96ポイント前年度より向上し、新設された収納課の努力が寄与した。市税の収入未済額は、6億2917万円、その内、固定資産税が84・64%、市民税が13・79%で、ほぼ全体を占めている。市税の不納欠損額は、

1億3230万円と前年度の約5倍となり、地方税法に基づく処分、第15条の7（執行停止）、第18条第1項（消滅時効）によるものである。過年度のの不納欠損処分については、企業の破産等による固定資産税の処分が94・63%であり、税の公平性の観点から、個々の状況を詳しく把握し、実情にあった対応による徴収率の向上が求められる。

# 厳しい市税徴収

## 借金はこれだけ

[単位：万円]

地方債（借入金）の内訳	
借入金の項目	平成23年度末
総務関係の借入金	1億1437万円
農林水産・公有林の借入金	4億2557万円
商工関係の借入金	320万円
土木建設・公営住宅の借入金	8億9590万円
消防関係の借入金	321万円
教育関係の借入金	7億5816万円
災害復旧債	1273万円
その他	67億9380万円
①臨時財政対策借入金	42億1403万円
②合併特例債	13億4890万円
③ほか	12億3086万円
合計	90億 696万円

## 市税の徴収状況(現年課税分)

科目	収入予定額	収入額	徴収率	前年度比
市民税	9億3077万円	9億1218万円	98.0%	102.8%
固定資産税	13億 280万円	12億 484万円	92.4%	101.6%
軽自動車税	7551万円	7294万円	96.6%	101.3%
たばこ税	2億1335万円	2億1335万円	100.0%	121.8%
入湯税	6282万円	6260万円	99.6%	105.0%
計	25億8528万円	24億6594万円	95.3%	103.6%

# 議会からもの申す

正・副議長、議会選出の監査委員を除く15名の議員全員で決算特別委員会を設置し、平成23年度一般会計・特別会計（7件）歳入歳出決算審査・水道事業会計剰余金の処分及び決算審査を、9月19日から28日までの10日間で慎重な審査を実施し、下記のような指摘を行った。

一般会計歳入は、市民税や固定資産税が前年度比若干の増加となっている。徴収率も、市税全体で0・78%の改善がみられるが、歳入総額に占める自主財源の比率は32・9%と厳しい財政運営状況に変わりはない。

歳出は、屋内多目的広場整備や住宅リフォーム緊急助成等大型事業の土木費や駐車場等用地購入やプレミアム商品券発行、湯けむり広場整備事業等の商工費、子ども手当・生活保護扶助等の民生費が増加し、派遣職員から嘱託職員へ変更したため人件費は大きな増加となった。

## 指摘事項の主なもの

### 決算審査に係る指摘事項報告書

#### 『総務課』

☆規則の改正が多い状況であり、決算時に議会に報告を求める。

#### 『財政課』

☆給食センター跡地の不動産鑑定・測量業務は、流用ではなく補正予算で対応すべき。

☆市内公共施設は増え続けているが、新たに管財課の設置を望む。

#### 『市民課』

☆住基カードは登録者が伸び悩んでいる。高齢者の身分確認や確定申告時の煩雑解消のためにも加入を促進すべき。

#### 『企画・企業誘致課』

☆嬉野パワーアップは単年度事業であり、効果の判断が難しいと思われるので、複数年度の事業検証が必要である。

☆乗合タクシーは、各地域の実情に合った形態となるよう条件整備を進めていくべき。

#### 『地域づくり・結婚支援課』

☆市内公共施設は老朽化が進んでおり、今後の財政負担を考慮し、各施設の廃止や再編・継続を協議すべき。

#### 『健康づくり課、健康福祉課』

☆23年度から歯周病検診制度が開始されたが受診者が少ない。歯科医師会と検討し対象者に周知徹底を図るべき。

☆食の自立支援事業は年々利用者が減少している。独居老人の見守り効果も考えると、今後は利用者拡大に向け努力を。

#### 『福祉課、健康福祉課』

☆福祉センターの修繕の一部を昨年に引き続き予備費から充用している。本来、点検等をする中で予算措置を講じておくべき。

☆よいこあつまれの事業が拡充された中で、赤ちゃんひろばと、よいこの広場は、よいこあつまれの事業での統合を望む。

#### 『農林課』

☆うれしの産うまかもん給食支援事業は、農業に対する理解醸成が目的であり、食材への感謝の気持ちを育む事業として、今後、内容の検討が必要。

#### 『茶業振興課』

☆うれしの紅茶の品質を高め、ブランド化を進めるためにも、嬉茶楽館の充実を検討すべき。

#### 『観光商工課』

☆シーボルトの湯の駐車場として、第二笹屋・花月跡地を購入し、利用客の増加が顕著である。今後、より良い方向での周辺整備を望む。

#### 『建設・新幹線課』

☆新幹線嬉野温泉駅ユニバーサルデザイン計画策定業務は、日本一の駅舎を目指して、今後有効な活用を求める。

#### 『学校教育課』

☆奨学資金貸付金は、約601万円の収入未済になっている。連帯保証人が定められているが、その機能が果たされていないので、早急に対策を講ずるべき。

☆給食費滞納者に対しては、いまだ、督促を行うことで終わっている。弁護士、裁判費用として予算計上しており、早急な対応が必要。

#### 『国民健康保険』

☆2年続けて赤字計上され、1億3361万円の翌年度繰上充用がなされている。早急に国保運営審議会を開催し、検討を図るべき。

#### 『農業集落排水・公共下水道』

☆農集排は、接続率が100%になっても現在の使用料では維持管理費の60~70%分であり、今後使用料の検討を望む。

☆汚水処理整備構想が24年度に策定される。今後は未整備地区の対応を早急に示すべき。

#### 『水道事業』

☆ペットボトル事業は、職員の配置や業務量等を考慮すれば、見直しが必要。

最後に、昨年の決算において指摘した事項が改善されていない案件も見受けられるので、真摯に取り組まれることを強く望むものである。

# いじめ対策の委員会を設立

# 7億8512万円を補正

一般会計総額で140億2342万円に

## いじめ問題発生防止に

39万円

**問** この事業の目的は。

**答** いじめ問題が発生しないよう、積極的に学校現場の体制や生徒指導の在り方について検討や提言を行う委員会を立ち上げる。いじめ問題が発生した場合は対策等を話し合い学校や子どもをサポートする。

**問** 委員会メンバーは。

**答** 警察官OB、医師、弁護士、大学講師、民生児童委員等8名で構成される。

## 合併振興基金積立

6億円

**問** この積立とはどのようなものか。

**答** 合併特例債を財源に基金を積み立て、その運用益で地域振興を図る。

**問** 積み立てはいつまでするのか。

**答** 平成24年と平成25年の2カ年にわたり行う。

**問** 基金積立の総額はいくらか。

**答** 必要に応じ増額できるが、本市の標準基金規模は24年度6億円、25年度7億1千万円で総額13億1千万円となる。

## AED設置として

217万円

**問** AEDとはどんなものか。

**答** 突然、心臓に異常を生じたとき、機器の判断で適切に電気ショックを行い、心臓を正常に戻すための医療機器である。

**問** 市内にはすでに設置

済みと思うが。

**答** 今年、塩田中学校においてAEDで市民の方が救われた事例もあり、今回新たに、公会堂・楠風館・みゆき球場など6カ所に増設される。既設置分も含め27台となる。

## 自治公民館 新築・改修補助金

80万円

**問** 今回の補助金対象となる自治公民館は。

**答** 大牟田公民館、牛坂公民館、上岩屋公民館の3公民館である。

**問** 補助金の内訳は。

**答** 大牟田公民館のトイレ改修、牛坂公民館の網戸取り付け、上岩屋公民館の屋根瓦替えと雨漏り修繕に使われる。

**問** 補助金交付の目的は。

**答** 地域の拠点となる自治公民館を有効活用し、地域の活性化を図るために補助金を交付する。



▲改修される上岩屋公民館



▲早く進めたい集中管理（源湯）

温泉水位  
観測業務として

357万円

問 なぜこの事業を行うのか。

答 源泉所有者会議で嬉野温泉全体のピーク時における揚湯量と使用量を早急に把握する必要がありとの要請を受けた。

問 事業の内容は。

答 今年の12月から1月にかけて4カ所の源泉を調査する。

問 事業の目的と効果は源泉の維持管理に係

る啓蒙・啓発に役立て、その結果をもとに今後の源泉集中管理の推進を図る。

住宅リフォーム  
緊急助成で

3234万円

問 当初予算で5069万円、6月補正で1853万円、さらに9月の追加補正で3234万円があり、合計で1億円を超える事業になったが。

問 この事業は県の事業で23年度から25年度まで予定されている。嬉野市

もこれに乗せして助成金を出している。予想以上に好評で申し込みが殺到し予算が不足した。県は今度も次年度分をさらに前倒して予算計上がなされた。

問 今回はどんな方法でいつ頃受け付けるのか。

答 前回同様、工事の施工ごとに受け付ける。11月には工事に入れるようにしたい。

問 来年度もこの事業は継続するのか。

答 県の基金も底をついているので、未定のようにだ。

高齢者運転免許証  
自主返納支援に

19万円

問 事業の内容は。

答 70歳以上の高齢者を対象に運転免許証自主返納を推進するため、住民基本カードや運転経歴証明書、交付申請の補助やタクシー券を補助する。

問 どうして免許証の返納を支援するのか。

答 最近、高齢者の車での事故が増えているからだ。

問 車の運転ができれば困られる高齢者の方もおられるのでは。

答 確かにそうだが安全には変えられない。個人差もあるので一概に言えないが、あくまでも車の運転に支障や不安があると思われる方を対象にしている。

問 児童保育室設置で（放課後児童健全育成事業）

1004万円

問 これまでとはどう変わるのか。

答 現在、塩田地区は保育園で児童保育を行なっているが、来年度から各小学校の教室で実施することになった。

問 それはどうしてか。

答 学校から児童クラブまでの距離が長く、保安や安全面に非常に不安があったからだ。

問 この予算の内容は。

答 塩田小・久間小・五町田小・谷所分校に児童保育の各教室を設置する工事を行うものだ。

問 工事の内容は。

答 空き教室を仕切り、児童保育専用に変更する。

問 体育館の利用が少ない1月から3月の一定期間を考えている。

問 体育館の利用が少ない1月から3月の一定期間を考えている。

嬉野市体育館  
床改修工事として

315万円

問 事業の目的は。

答 平成25年度に高校総体なごなた大会が嬉野市体育館で予定されているが、アリーナの床の傷みが指摘され事前に整備する必要があるので。

問 工事の内容は。

答 体育館のアリーナの床を研磨・ウレタン塗装及び競技コートライン設置である。

問 工事はいつ始めるのか。

答 体育館の利用が少ない1月から3月の一定期間を考えている。

問 工事はいつ始めるのか。

答 体育館の利用が少ない1月から3月の一定期間を考えている。

その他の補正予算

項目	金額
強い農業づくり交付金事業	4261万円
花立水路改修	6145万円
“進”魅力ある学校づくり推進事業	45万円
茶業大会報奨金	37万円
特別支援教育支援員配置事業	326万円
森林を守る交付金事業	174万円
塩田中テニスコート改修工事	247万円
社会体育館農業集落排水接続工事	270万円
学校給食センター運営委員会委員	42万円

# 景観条例で討論

今議会において条例制定が4議案、一部改正が3議案上程され、いずれも可決成立した。



神近勝彦 議員

一部の地域から始め、理解と協力を拡大すべき

## 賛成 反対

一体的な街並み整備が不可欠



山口 要 議員

景観条例については平成22年6月議会において否決。今回、再提出となり、賛成多数で可決成立

した。反対・賛成討論については掲載のとおりである。

景観条例の趣旨には賛同するが、問題点がある。

の対応が明確化されておらず、混乱をおこす場合が考えられる。

1・前回提案から2年3カ月の間に説明会は6回で、参加人数は96人である。これでは、市民への十分な説明がなされたとはいえない。

2・条例ならびに景観計画では、小さな項目も規制されている。市民が条例や景観計画を熟知せず施行された場合

3・景観保全のために、市民の財産を規制するのであれば、市内全域の対象ではなく、最初は一部の地域に限定し、市民の景観に関する理解と協力を得ながら対象地域を拡大していかなければならない。  
以上の理由により反対する。

平成17年に景観法が施行され、本年度で早や7年の歳月が経過した。その間、景観行政を実施する団体は全国で557団体となった。こうした条例や計画を制定した先進地の事例では、地域のブランドイメージが高まり、観光客や居住者の希望者が増えるという効果も生まれているという。観光立市を標榜する嬉野としても、条例を基にした一体的な街並み整備は不可

欠である。本市の緑豊かな自然景観や歴史的町並み景観を、市民の共有財産として守り、育て、地域の魅力や個人の創出を図りながら、嬉野らしい良好な景観を将来へ引き継いでいくことは私達の使命である。そのためにも景観条例の制定が必要となってくる。前回の否決という結果を繰り返すと、子孫に大きな禍根を残すということを踏まえて賛成の立場を表明する。

### 空き家条例を制定

この条例は、空き家等を適正に管理することにより、倒壊等での事故犯罪や火災等を未然に防止し、地域環境の保全や市民の安全な暮らしを維持するために制定された。指導や警告、命令等も定めており、それに著しく反する場合は、行政代執行を行うこともある。

### 合併振興基金を条例制定

合併特例債を基金として積み立てるために条例制定された。合併による効果の一つ

### いじめ問題等発生防止支援委員会設置条例

市内小中学校においていじめや暴力等の問題行動に関し、専門的な立場から検討・改善を図るための支援委員会を設置する。委員会は、いじめ問題に関し嬉野市教育委員会から要請があれば調査審議し適切な指導や助言を行う。



▲嬉野市の未来を描く計画





▲緊急時に必要な防災無線

みゆきドーム使用料 ※備考 「学生」とは、高校生以下とする。

区分	使用料 (1時間につき)	照明設備 (1時間につき)	利用時間	納期
学生	250円	200円	午前8時から午後9時30分まで	許可の際
一般	500円			

みゆきドームの使用料を設定  
みゆきドームが11月1日オープンするのに伴い、使用料や利用時間を定めるために嬉野都市公園条例の一部を改正することになった。

# 防災無線がデジタルに

防災行政無線施設（デジタル同報系）整備工事請負契約を締結

防災行政無線の整備が

今年度から3年かけて約9億5千万円の予算で計画され、今回指名競争入札の結果5億6700万円で佐賀市の業者が落札した。

現在の防災行政無線は旧町ごとに運営されており、アナログ波による通信システムである。これらをデジタル対応化することで、市民への防

災情報のみならず防犯や交通安全・市民生活・行事等の情報伝達がより向上する。

みゆきドームの建設工事請負契約を変更

最終の仕上げの段階で排水溝やグラウンドを真砂土で舗装するなどの追加工事が発生した。

当初の工事請負契約金額2億7千万円に2399万円を追加して2億9399万円になった。

塩田小耐震補強工事請負契約を変更

工事設計の一部変更に伴い、当初の契約金額1億3891万円に1527万円を追加し、総額1億5418万円となった。工事の主な変更箇所は一部崩落して危険な状態にある軒裏部の補修と照明器具がLED照明に変更。また、工期も10月31日まで延長になった。

# 議案の賛否 どう判断

賛 否 表

○は賛成 ●は反対

議案番号	議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
		辻浩一	山口忠孝	田中平一郎	山下芳郎	山口政人	小田寛之	大島恒典	梶原睦也	園田浩之	副島孝裕	田中政司	織田菊男	神近勝彦	田口好秋	西村信夫	平野昭義	山口要
議案第44号	嬉野市空き家等適正管理に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
議案第45号	嬉野市合併振興基金条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●
議案第46号	嬉野市景観条例について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●	議長代行のため	○	○	○
議案第52号	平成24年度嬉野市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
議案第53号	嬉野市平成24年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
議案第54号	平成24年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
議案第55号	平成23年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
議案第56号	嬉野市いじめ問題等発生防止支援委員会設置条例について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○

# 北朝鮮による拉致被害者救出を

## 意見書を関係機関に送付

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

地方交付税の総額確保と小規模自治体に配慮した再配分機能の強化。国税5税の法定率の改善、社会保障分野の単位費用の改善、国の直轄事業負担金見直し、医療介護・子育て支援分野の人材確保、少子・高齢者に対応した一般行政経費の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ2013年度地方財政計画を策定すること。

請願者 自治労佐賀県本部

### 教育予算の拡充を求める意見書

豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成する上で義務教育水準の維持向上を図ることが重要である。小学校の第2学年から第6学年まで及び中学校に係る学級編制の基準を順次改定するとともに、安定した財源の確保に努めること。教育の機会均等と教育水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国庫負担を2分の1に還元すること。

請願者 嬉野市教組

### 北朝鮮による日本人拉致被害者の救出を求める意見書

平成14年、北朝鮮は日本人の拉致を認め5人の被害者を帰国させたが、それ以降、家族の帰還以外は全くの進展はない。

拉致問題はわが国に対する重大な主権侵害であり許しがたい人権侵害であることはいうまでもない。政府は全精力を傾けて全ての拉致被害者を早急に救出するよう強く求める。

9月定例議会に請願2件、陳情11件が提出され、請願は委員会付託をし、慎重な審議を行った。本議会での委員長報告並び

に、請願2件の意見書に加え議員発議で1件の意見書が提出され、慎重な審議を行った結果、全会一致で採択した。



▲改良したい宮の元・山口線

陳 情	
陳情の要旨	陳 情 者
九州における震災がれき処理について	東京都杉並区 菅原夏実
新幹線長崎ルート俵坂トンネル西工区の地下湧水に関する陳情	下岩屋一区 区長 田中哲義 下岩屋二区 区長 森山健 下岩屋三区 区長 山口正信 上岩屋区 区長 田中要次郎
嬉野市発注の公共工事に使用する生コンクリートの地元業者優先使用に関する陳情	嬉野市商工会 会長 小原健史 株式会社納所運輸 代表取締役 鹿島英美 株式会社西村組 代表取締役 西村博
大野原地区の三丁橋拡幅工事に伴う陳情	大野原区長 前田勝義 他9名
市道宮の元・山口線の道路改良に関する陳情	谷所大区長・谷所振興会 会長 福市喜久春 他10名
婦人会活動に対しての助成金について	嬉野地区地域婦人会 会長 辻田和子
貴議会での拉致問題意見書決議可決に関する陳情	北朝鮮に拉致された日本人を救出する佐賀の会設立準備会 代表 大島一政
嬉野市学校給食センター統合計画の見直しについて	嬉野市商工会 会長 小原健史 学校給食納入組合 組合長 小林盛也 五町田小学校PTA 会長 吉田謙太郎 久間小学校PTA 会長 光武智彦 塩田小学校PTA 会長 田中真仁 塩田中学校PTA 会長 田中豊樹
国道498号線に係る右折車線と蓋設置について	南下久間地域新振興協議会 会長 村岡保昭
地球社会建設決議に関する陳情	神奈川県横浜市 荒木實

## お茶の間で議会を



- ・インターネット中継・録画放映
  - ・有線テレビ放映
- (放映については議会事務局にお尋ねください)

臨時議会・一般質問

← 次ページは  
一般質問

# 市政を問う

9月議会

## みゆきドームオープンイベントに フラダンス大会を開催

7月17日に第2回臨時議会を開催し、1070万円の補正予算が計上され全会一致で可決した。内容は、9月から新しく切り替わる不活化ワクチン接種費用に473万円、みゆきドームの落成式に208万円、その記念イベント「九州フラ・フェスティバル in 嬉野温泉」開催に389万円の予算である。



▲完成したみゆきドーム

「フラ・フェスティバル みゆきドーム」の落成式典と併せて「フラ・フェスティバル」を実施し新施設の効果的なPRを図るとともに文化・スポーツ及び観光の振興を行い、嬉野温泉の来客数の増加を目指す。  
約80のフラダンスチームや本場ハワイからの豪華ゲストの出演で来場数5千人を見込んでいる。

## 人権擁護委員 に推薦

人権擁護委員の中山肇氏の退任に伴い、筒井幸治氏（64歳―塩田町大字馬場下）を市長が推薦するため議会に提案された。これに議会として全会一致で適任と認めた。



# 給食センターの統合はやるべきでない

山口政人 議員

答 統合にご理解をいただきたい



**山口** 7月に開催された「議員とかたろう会」で、塩田地区の全会場で塩田の給食センター廃止に対し反対意見が出たが、どう対処するのか。



▲存続してほしい塩田給食センター

**市長** さまざまな意見があるが、嬉野市の健全経営に向け、安全・安心の給食を継続するため必要なので、ご理解をいただきたい。

**教育長** 経費の削減、事務の合理化など必要なので、統合の計画を進めていきたい。

**山口** 今後、5年間で4千万円の節減というが、嬉野給食センターの改修費が増えれば、節減額はゼロになる可能性だって

ある。塩田町民のこうした反対の声は一部の声ではない。それでも統合するのか。

**市長** 子どもたちに継続的に安全・安心の給食を提供する必要がある。いろんな課題があるが、ご理解をいただきたい。

**山口** とても理解できることではない。反対意見が多い中、統合を強行すると塩田町民の市に対する物の見方、考え方が変わってくる。そのデメリット

# 給食センター統合計画より財源捻出に努力せよ

平野昭義 議員

答 児童数の減少による経費削減を理解されたい



**平野** 6月・9月議会で

計画に反対意見を数名の議員が質問した。7月に開かれた「議員とかたろう会」でも塩田町の4会場で多くの意見が出された。また、商工会・学校保護者会・塩田町納入組合からも陳情書が提出され、反対運動が動き出している。

**市長** 合併以来、兼務職は再三行っている。必要があれば取り組みたい。

**教育長** 経費削減や事務の見直しについては、喫緊の課題と考えている。

**結婚支援課の状況は** **平野** 各戸にチラシを配布してあるが、イベントの内容は。

**平野** 統合した場合、1番遠い久間小学校まで16キロになり、配送に30分かかる。災害や食中毒が発生した場合などを町民は心配されている。また、統合による経費削減は、年間800万円と聞いているが、それよりも一般会計130億円の事業運営の中で捻出する努力をすべきであり、他にも少子化の改善策を行ってはどうか。

**地域づくり・結婚支援課長** **平野** 市内の登録者数は。市内が60名で、男性が41名、女性19名となっている。

**建設費**は3億6千万円の血税が出費されている。市民が納得する血の通った行政運営をすべきだ。市民の多くは計画から削除することを望んでいるが。

**市長** 行政改革で、例えば2つの課を部長に兼務させれば人件費も浮くし、節減になるのではないか。

**平野** 行政改革で、例えば2つの課を部長に兼務させれば人件費も浮くし、節減になるのではないか。



▲グランドゴルフに興じる市民



# グランドゴルフ場の管理は 十分できているか

答 協会員の方々にも協力してもらっている

山口忠孝議員

ツトが経費節減よりはるかに大きい。統合はすべからぬ。

**市長** 少子化の流れの中で、安全な給食を確保していく努力をしているのでご理解をいただきたい。

**下水道の未整備地区について**

**山口** 上久間地区を除く久間地区、大草野地区、

嬉野の公共下水道地区外の工事着手はいつになるのか。

**市長** 現在、下水道審議会で検討している。平成25年度から整備計画に着手し、27年ごろから工事開始できればと思っている。

**山口** 計画のように着工して、本当に29年度供用開始できるのか。

**市長** 国・県の事業に乗せて実施しているのですが、年月はかかるがそれを短くしていく努力をしているので、ご理解をいただきたい。

**その他の質問**

- ・地域コミュニティについて
- ・水資源の確保について



▲美味しい給食づくりに励む職員

**山口** 芝の管理はどうしているのか。

**市長** みゆき公園の管理職員が行っている。また、グランドゴルフ協会員の方々に（以下協会員と略）方々にもボランティアでやってもらい感謝している。

**山口** 雑草が生い茂っている所が一部あるが、対策はやっているのか。

**財政課長** 薬剤を使わず人手に頼って雑草を取っている。協会員の方々に時々草取りをしてもら

**山口** 芝の育成のために芽が出る期間を利用休止にしたかどうか。

**財政課長** 芝の育成と利用の面など協会員の方々と話し合い検討している。

**山口** 東側の水路を暗渠にして広くしてもらいたいとの要望書が提出されていたと思うか。

**財政課長** 水利権がある下宿区と協議したが、賛意が得られなかった。

**山口** 管理運営には経費がかかる。そのため利用料金を少し値上げしてもいいのではないか。

**財政課長** 現在、他の施設等も考慮し内部で検討している。

**山口** 市内に限らず市外からの観光客の方もたくさん利用され人気がある。手入れも大変だろうがよい運営をして欲しい。

**財政課長** 今後も協会の方と密に連絡をとりながら、よりよいグラウンドゴルフ場にしていきたい。

**自然エネルギーを生かした街づくりを**

**山口** 市役所など公共施設に太陽光発電を設置し

たらどうか。

**市長** 公共下水処理場等に設置しているが、今後検討してみたい。

**山口** 今夏、市内の小中学校の各教室にエアコンが設置された。学校こそ太陽光発電を設置すべきではないか。

**教育長** 教育的効果も期待できるので、設置費用等も含め研究検討してみたい。

**山口** 自然エネルギーを生かした街づくりは、これから重要な視点になるし、新しい観光資源として生かせると思うか。

**市長** 前向きに取り組んでみたい。

# コンビニで証明書発行を

神近勝彦 議員

## 答 前向きに取り組みたい



**神近** コンビニエンスストアで、住民票などの証明書を住民基本台帳カードを利用して取得できるシステムが、全国で46団体が、今年度中には57団体が取り組むことになって

いる。嬉野市でも参加すべきと思うが。

**市長** 以前、検討した時は、電算センターの事業時間や費用などの問題があったが、再度検討してみたい。参加団体が増えてくると負担も軽減されるので、前向きに取り組みたい。

**神近** 電算センターを含めた形の中で、どのようにしていくか考えながら取り組んでいくべきである。住民サービスを考えれば、朝6時半から夜11時まで、日曜祭日関係なしに取得できることは利点である。

**市長** 嬉野市から情報発信し、杵藤地区で取り組みがお互い助かると思う。  
**地域自主組織活動について**

**神近** 島根県雲南市を調査したが、そのなかで「集落支援員制度」というものがあつた。地域に1名から3名の支援員を置き、地域の点検、企画、実施などを行っていく活動である。嬉野市の地域コミュニティでもこの制度を



▲練習に励む吹奏楽部員（嬉野中学校）

# クラブ活動費は足りているか

## 答 予算をつける努力をする

梶原睦也 議員



**梶原** 部活動の位置づけは。  
**教育長** 部活動は教育課程の一環として位置づけられている。  
**梶原** 部活動中の事故について責任の所在はどこ

になるか。

**教育長** 最終的には学校長が責任をとる。

**梶原** 部活動費はどうなっているか。

**教育長** 生徒会費の中から部活動費という形で出している。

**梶原** 部活動費については足りていると思うか。

**教育長** 嬉野市は中体連については全額、補欠選手を含め外部指導者まで遠征費をつけてもらっており、今のところ特段の配慮は必要ではない。ただ、吹奏楽部の楽器等は高価なものなので、市の予算を見ながらお願いしたい。

**梶原** 嬉野中の吹奏楽部は長い伝統もあり、市の行事等でも活躍いただいている。楽器については修理を繰り返しながら使用されているが、部費では足りないの自分たちで積立をして賄っている状態だ。吹奏楽部に限らず他の部活動でも同じような状況があると思うが市長の考えは。

**市長** 3年前だと思うが県のスポーツ大会で嬉野

中、塩田中が1番、2番を占めたことがあり非常に話題となった。一生懸命子どもたちは頑張っていると思うので予算を付ける努力はしていきたい。

**防災・減災対策について**

**梶原** 東日本大震災を受けて、嬉野市の地域防災計画の見直しは行われたのか。

**市長** 市内全般の防災計画として取り組みを進めており、すでに最終段階となっている。

**梶原** 昨年6月議会で導入申請した被災者支援システムはどうなっているか。

**市長** 早急に調べ対応する。

**梶原** 地域防災会議のメンバーに女性はいるか。

**総務課長** 1人もいない。

**梶原** 東日本大震災の経験が生かされていないか。防災については万全の対策を要望する。

**市長** 防災対策は全般的に努力を継続させなければならぬ。



▲証明書発行に活用したいコンビニ

取り組んで地域の活性化を図るべきと思う。

**市長** 地域コミュニティには、最初から担当職員をつける約束していた。課題はあるが、この地域支援員と同じような形で担当職員を配置できるような努力したい。

**神近** 職員を配置することには反対である。自分たちの地域は自分たちでという意識を高める必要がある。轟・嬉野校区はエリアが広すぎる。ここに重点的に配置すれば、機能がよくなっていくと思う。

**市長** 提案させていただき、きめ細かな範囲で活動が充実するように一緒に努力をしたい。

**公共施設に民間の広告を**

**神近** 今度オープンするみゆき公園の多目的全天候型施設や社会文化会館にネーミングライツの公募を行い、少しでも収入を得ることができないのではないか。

**市長** 経費節減の一助になると思う。社会文化会館等は考えてみたい。

# 庁舎のタバコ禁煙は

山下芳郎 議員

## 答 積極的に禁煙を進める



**山下** 庁舎内の禁煙はできているか。

**市長** 原則禁煙であるが、分煙措置もあり、受動喫煙の被害もあるので積極的に禁煙を進める。

**山下** 現状の分煙場所は

吹きさらしで分煙ができていないし、指定場所以外でも喫煙しているのだから徹底すべきである。分煙をするなら受動被害が出ない分煙措置をすべきである。

**副市長** 個人の嗜好もあるが、最終的にはすべて禁煙にすべきと思う。

**山下** 学校の管理状況は。 **教育長** 校舎含め敷地内全面禁煙であり、生徒指導上も有効である。

**山下** 公園は分煙看板があるが分煙場所はない。分煙が必要なら分煙場所を作るべきだ。

**市長** 公園も原則禁煙と考えるので、追加看板を設置する。

### ハンコ決裁を電子決裁へ

**山下** 第二次行財政改革大綱が始まったが「電子自治体の推進」は最終年度の実施となっている。スピード時代の中、足掛け10年とは不満である。保留理由の費用対効果と遅れる理由は。

**市長** 広域圏で取り組まないと成果が出にくい。二重投資の課題もあり、



▲嬉野庁舎の喫煙所

### 新規の大型施設の愛称は公募で

**山下** 施設の愛称はPR告知し、広く利用してもらうために全国公募すべきではないか。

**市長** 「みゆきドーム」は庁舎内で決めたが、原則は公募を進める。

**山下** 施設の予約は、税収と地元の経済効果を考慮し、遠来の方を優先できないか。

**市長** 条件は同じと考えたい。

**市長** 出勤簿は200名程度であり、費用面からも昔流が確実である。

**総務部長** 出勤簿は管理職のところにあり、押印するとき職員健康管理もチェックでき、今の方がよい。

# 医療センター跡地の構想は

副島孝裕 議員

**答** 学校施設やコンベンション施設等の組み合わせを検討したい



**副島** 新幹線駅周辺整備は土地区画整理事業で進められるが、メリット・デメリットは。  
**市長** 幅広く土地の活用整備ができ、計画的まちづくりが推進できる。整



▲跡地活用が課題の医療センター

備の規模が大きくなり事業が長期になるが、区画整理を経験された地権者が多いので理解していただけだと思う。

**副島** 嬉野医療センターが新幹線駅市街地側に移転計画されているが、課題と対応は。

**市長** 嬉野温泉駅前のもちづくりの核になると考えている。今後、条件等が整い次第公表したい。医療センターにおかれても、広範囲に医療サービスができる可能性に大きく期待をしておられる。

**副島** 医療センター跡地の構想は、雇用が強く求められている医療関係や将来性のあるICT関連の資格取得のできる教育施設の構想が一番ふさわしいと思うが。

**市長** 温泉旅館街に隣接した貴重な場所であり、大規模交流のできる地点ということ、コンベンション機能施設やエデュケーション（教育）機能の学校施設等、幅を広げて計画していきたい。  
**副島** 新幹線駅周辺整備や医療センター移転構想

# 最

## 低入札（制限）価格の見直しを

**答** 検討してみたい

大島恒典 議員



**大島** 国内経済は非常に厳しい状況にあり、特に地方では公共事業の減少

による建設業の倒産が顕著である。嬉野市においても例外でなく、今後の雇用情勢や自然災害の緊急対応にも危惧するが、

本市の現状と取り組みは、  
**市長** 市としては積極的に社会資本整備を行っており、円滑に事業が行われていると考えている。交付金事業においては資格や等級が必要であり、資格所有の企業に参加いただいている。今後とも地元の関係者には参加いただけるよう努力していきたい。

**大島** 全国の自治体において、地元業者の育成のため最低入札価格を引き上げる動きが進んでいる。佐賀県も先進的に取り組んでいる状況である。また入札予定価格の公表についても、課題はあるが今後検討していくべきと考えられる。

**副市長** 嬉野市においては適正な入札が行われていると思っている。今後見直しすべき点があるか検討をしてみたい。

**地域防災計画どうする**  
**大島** 昨年の東日本を襲った震災以降、全国において地域防災計画の見直しが進んでいる。県内においては電力業者との地域安全協定の締結に向けた動きがあるが、嬉野市としての取り組みはどうか。  
**市長** 県内市長会を通じ

て要望している。嬉野としては原発立地自治体並みの締結を望んでいく。  
**大島** 地域により温度差がある早期締結に向けては、県主導でおこなうべきと考える。嬉野市は玄海原発からは30km圏外であるが、避難については想定しておくべきと考える。嬉野市民の避難については地理的条件からみて長崎県との協議を進めるべきと思うが。

**市長** 今後、長崎県の皆さんとも協議をしていきたい。また、新幹線沿線の5市とも災害協定を結んでいるので協力いただけると思う。





▲温かい給食配送を待つセンター車

**田中** 「議員とかたろう会」が開催され、塩田地区の4会場全てで、塩田の給食センターを廃止する案を撤回してほしいとの意見が出された。6月議会でも市長は「市民に理解していただくよう説明して推進していきたい」、また、教育長は「経費の削減は喫緊の課題と考え一本化を図りたい」との答弁があるが、どこまで理解を求められたのか。給食委員会やPTA・区

長会などとの協議をされたのか。  
**教育部長** 塩田と嬉野の給食センター運営委員会の中で、経緯と状況については説明している。その中にはPTAの代表の方もおられる。塩田地区の納入組合の方との意見交換も行い、いろいろな意見が出されている。  
**田中** 統合すれば塩田の児童生徒に給食の時間的な問題が生じるのではないか。

**教育長** 温かいものは冷たくならないように、冷たいものは冷たいまま配送できるように、配送時間や距離の問題は現在使っている配送用容器を保温性のすぐれた容器に変更すれば十分な対応が可能である。  
**田中** もし食中毒でも発生したらどうなる。やはり塩田と嬉野に2つあった方がいいのではないか。  
**市長** 食中毒を起こさないというのが大前提である。そのようなことがあれば全部閉鎖をして、安全な給食を別の所から持つてきてでも給食事業を継続するということが責任だと思っている。

**教育長** この問題については一番あつてはならない問題であり、年間を通じ万全の注意と神経を配りながら対処し、食中毒の発生を未然に防ぐ努力を行っている。食中毒の防止と安全・安心な給食の提供をテーマにして、毎年給食センター職員の研究を行っている。  
**田中** 現在の塩田学校給食納入組合については、もし統合となると今後どうなるのか。  
**教育長** 嬉野にも納入組合があつて、両町の納入組合と話しをしていただき、納める量は堅持をしていく。



## 強 行政的な統合は中止せよ

田中平一郎議員

答 行政改革の推進には引き続き努力する

は当市にとって重要なプロジェクトであり、「総合計画」の見直しをすべきと思うが。  
**市長** 新幹線の開業を見越した視点が大切であり、一部について次年度から見直しを手掛けたい。  
**地域コミュニティ活動** について

**副島** 自主防災組織の取り組みについて、行政の指導が必要と思うが。  
**市長** 将来の地域の存続を可能にするのが自主防災組織で、行政との緊密な連携が重要である。今後、コミュニティ連絡協議会の中で協議したい。  
**副島** コミュニティセンター建設について、社会

資本整備総合交付金の利用ができるか。  
**市長** 申請し、整備についての経費は認められた。  
**副島** コミュニティセンターの指定管理者制度導入を検討すべきと思うが。  
**市長** 吉田地区については公民館の制度があり、法的に可能か研究したい。



▲入札風景

# 水 資源確保の条例が必要ではないか

辻 浩一 議員

答 上位法との関連が望ましい



**辻** 浄水場の原水は、何が想定されるのか。  
**市長** 嬉野では、全て表流水を使っている。  
**辻** 河川から表流水を利用するのは、規制があると思うが。

**建設・新幹線課長** 水利権があり、許可を受けて水道に利用している。

**辻** 春日浄水場の取水口は何級河川なのか。

**建設・新幹線課長** 溪流なので河川法の適用は受けない。

**辻** 支流・溪流に土地を持ち取水をしても、何ら規制をうけないか。

**建設・新幹線課長** 民有地であれば所有者との話となる。

**辻** 原水として地下水も考えられるが、水利権者は誰なのか。

**建設・新幹線課長** 水が出ている所の地権者が水利権者になる。

**辻** 地下水利用で枯渇に関する規制がない。条例の整備が必要ではないのか。

**市長** 上位法が整備されない実効性が乏しい。

**辻** 他の自治体では売買報告や立入り調査権、また、取水・揚水の口径の制限や勧告等が条例化してあり、抑止力になると思うが。

**市長** 上位法がしっかりしないと意味がない。国、



▲カラオケのバックスクリーンに欲しい嬉野情景

## 「嬉野川恋唄」などのカラオケに嬉野の風景を

田中政司 議員

答 可能性があれば取り組んでいきたい



**田中** 現在「嬉野川恋唄」や「嬉野は恋の湯の町情け町」などが通信カラオケで配信されているが、背景が嬉野ではない。嬉野をPRするためにもシーボルトの湯や茶畑、塩田津など風情ある嬉野の

背景で配信できないか。  
**市長** 前回は早急にカラオケで配信したいという考えで映像までの協議はできなかった。今後協議し可能性があれば取り組んでいきたい。

**田中** また、ユーチューブやユーーストリームでの動画配信はできないか。

**産業振興課長** 可能であると考えている。

**ふるさと納税のPRを**

**田中** ふるさと納税の現状は。

**市長** 昨年は大口の寄付金があったが、本年度は3件で6万5千円であり、今後も寄付を呼びかけていきたい。

**田中** 正月にシーボルトの湯などで、帰省客の方へPRする考えは。

**市長** ひとつの方法だろうと思うので、今後は検討していきたい。

**子どもたちにお茶を**

**田中** 給食時にお茶は。

**市長** 以前検討したことがあるが、各教室でやかんやポットを利用するとなれば取り扱いが難しく

安全管理の面で見送った。  
**教育長** 主に色つけや香り・風味付け用にお茶を利用しており、お茶の給食活用は献立の種類も含め、他の給食センターより多く活用している。

**田中** 子ども達に給食時にお茶を飲む習慣を身に付けさせることが今後の消費拡大にもつながるし大切と考える。紙パックに入った緑茶飲料を地元の業者と一緒に研究し、給食時に提供できないか。

**教育長** 学校給食法では主食・副食・副菜・牛乳の4品が定番になっており、そういう点で困難ではないかと考える。消費拡大という点では、給茶機を各学校に設置しており、対応できると考えている。

**市長** 子どもたちにお茶を飲む習慣を付けていたかどうかというところは良いことと考える。給食時のお茶の提供には引き続き勉強させていきたい。

### その他の質問

・市道俵取線について  
 ・茶園改植について



▲原水として利用できないか春日溪流

県に要望を続ける。

**市道改良を**

**辻** 市道「両岩・東吉田線」の一部を有蓋の水路にできないか。

**建設・新幹線課長** 水利関係の承諾が必要だが、物理的には可能だ。

**辻** 市道「宮の上線」の法面が崩落しているが確認はしたか。

**建設・新幹線課長** 現地調査は行った。修繕、修理する所があるのは認識した。

**辻** かなり危険な箇所がある。材料支給ではできないと思うが。

**建設・新幹線課長** 現在、そのような手法はあまり取っていないので、市が修繕という方法で対処をしていきたい。

**辻** 市道「両岩・殿の木場線」を防災面で整備する必要はないか。

**市長** 現在、市道の体をなしていない。緊急避難道路として何か手が打てないか研究をしたい。

# 外部監査導入を

山口 要 議員

## 答 研究してみたい



**山口** 外部監査制度は、嬉野町時代に条例として制定されていた。しかし、合併時に継続されなかった理由は何か。

**副市長** 当時においては他の市や町に制度として

なく、また嬉野町時代も該当する案件がなかったので削除されたと推察をしている。

**山口** 外部監査する方の資格要件については把握をしているか。

**総務課長** 弁護士とか会計検査院の職員・公認会計士等が対象である。

**山口** 再度の導入に向けて検討する考えは。

**市長** 現在、行っている監査委員会の充実に取り組みながら監査の強化と充実を行っていく。そして、外部監査については研究を進めてみたい。

**新公会計財務調査の見直しを**

**山口** 新公会計財務調査は、毎年222万円の予算を計上して会計事務所に委託されている。この調査報告を受けた後に職員間で分析等の取り組み等はあっているか。

**市長** 指示はしているが取り組みができていないところもあるので、これから指導していく。

**山口** 3年間経過をしてある程度のデータが揃っ



▲厳しく審査されている監査委員

ているわけなので、今後は職員間で分析する努力をしてはどうか。

**市長** できるだけ自分のところでやれば、やっていきたいと思う。

**観光問題どう取り組む**

**山口** 観光協会や旅館組合と観光商工課との連携を強化する意味で、早急に同一フロアの設置に取り組むべきだ。

**市長** 調査・検討をしているところだが、相当の費用が必要になるので、

時間をかけ計画したい。

**山口** スタッブの交流を進めてはどうか。

**市長** 可能だと考えているので、協力しながら成果を得ていきたい。

**山口** 川柳や短歌、俳句等の大会が開催されているが、入選作の川柳ロード等の設置を含めて、町づくりや観光に結びつけて取り組むべきだ。

**市長** 観光振興を念頭に実施をしているし、今後もしもそのように取り組んでいきたい。

# 火災現場が瞬時に伝わる システムの構築を

答 広域圏に伝えていきたい

小田寛之議員



**小田** 消防団の出動の際、現場まで早く到着できるように、スマートフォン

GPS機能とマップ機能を使い、火災現場がピンポイントで瞬時に伝わり案内ができるよう、情報提供ができるシステムを構築できないか。

**市長** 杵藤地区の通信指

令システムとの課題があり、現在でのシステムではできないとの見解であるが、技術的に可能になるときもくると思うので、広域圏に伝えていきたい。

現在、広域圏での解決策は、目標となる基準物を増やして位置測定をわかりやすくし、また、メール発信の登録者を増加させ努力をしたいとのことである。

**小田** 建物火災の場合、個人宅名と番地が放送できない理由は、

**市長** その課題について

広域圏議会でも再三提案をしているが、プライバシーの問題と個人の住宅の名前で発表するシステムになっていないとの答弁である。他市町からもその課題については発言をされているが改善ができていない。

**小田** 当初そういうシステムが導入されたのが、私は不思議である。プライバシーは関係なく、いち早く現場に行き火を消し生命と財産を守ることが第一に考えなければならぬと思う。今後とも

引き続き、強く要望し広域で考えていただきたい。

**市長** 消防団の現場の方が困っておられる状況は、訴えていきたい。

健康に努力される方にインセンティブを

**小田** 健康な人間がふえると国保の問題も多少なりとも改善ができる。旧嬉野町で取り組みがあったそうだがその内容は、

**市長** 家族揃って1年間、医療機関を未受診で表彰し、副賞も幾らか渡していたが、「適切な受診をしなければならぬときに我慢をされる方がいる。適切な時期に受診をするというのを勧めていくのが、本来の健康増進政策だ」というような意見

もあり、中止をした。  
**小田** 制度を復活させることを考えられないか。

**市長** 同じ制度での復活は考えないが、情報を集めていきたい。



▲大変便利なスマートフォンのマップ機能

# 市議会の30日間

平成24年9月

日付	曜	議会関連	内 容
3日	月	本会議	開会、報告、提案理由説明
〃	〃	委員会	議案の説明
4日	火	委員会	各常任委員会
5日	水	委員会	各常任委員会
6日	木	休会	
7日	金	本会議	一般質問
8日	土	休会	
9日	日	〃	
10日	月	本会議	一般質問
11日	火	本会議	一般質問
12日	水	委員会	
13日	木	本会議	議案質疑 (補正予算)
14日	金	本会議	議案質疑 (補正予算)
15日	土	休会	
16日	日	〃	
17日	月	〃	
18日	火	本会議	討論・採決
19日	水	本会議	議案質疑 (決算)
20日	木	本会議	議案質疑 (決算)
21日	金	委員会	決算特別委員会
22日	土	休会	
23日	日	〃	
24日	月	分科会	決算特別委員会
25日	火	分科会	決算特別委員会
26日	水	分科会	決算特別委員会
27日	木	委員会	決算とりまとめ
28日	金	本会議	討論・採決・閉会

# 議長交際費支出状況

(平成24年7月1日~平成24年9月30日)  
(単位: 円)

交際費の項目	件数	支出額
香 典	0	0
供 花	0	0
御 祝	0	0
会 費	1	8,000
その他	2	6,000
計	3	14,000

- ・御祝 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費等
- ・その他の内訳 行政視察手土産

# 観光と地場産業 の連携について

建設委員  
業常任委員  
産常任委員

これからの農産物や地場産品の直売所の将来を考えるため、武雄市山内町にある道の駅「黒髪の里」に「なな菜」と大村市のおおむら夢ファーム「シ

ユシユ」を視察した。

## 委員会の意見

道の駅「黒髪の里」と「なな菜」は指定管理者制度で運営されているが、

## ▲「シユシユ」で研修する委員会

ここ数年売り上げが減少してその対策に苦慮されていた。一方「シユシユ」は専業農家8戸による生産法人で、直売所のみならずパン工房・アイス工房、体験教室、観光農園、農業塾など、常に新しい商品開発や取り組みを展開されていた。

施設の健全運営と地場産業の振興を図るには運営方法の違いよりも、運営する「人」の違いに経営の差があると感じた。

# 障がい者雇用の 先進施設を訪問

厚任会  
教常員  
文生委

障がい者福祉についてはさまざまな課題が山積している。

特に、障がい者の自立という点ではまだまだ立ち遅れている。

そこで積極的に障がい者雇用に取り組んでいる大分市の社会福祉法人シンフォニーを視察した。

## 委員会の意見

この施設においては、障がい者が街にでて働く



▲「シンフォニー」で説明を受ける委員会

ことができるよう実践的な訓練がなされており、実際に障がい者が企業に就職したケースもある。

本市においても障がい者の雇用を確保することは大きな課題であり、今後は障がい者を取り巻く環境整備を積極的に進めていく必要がある。

いずれにしても行政のバックアップが大切であり、国・県・市が連携して取り組むべき課題である。

# 防災について

企画委員  
務任委員  
総常任委員

原発事故を想定した嬉野市の防災を考えるために、玄海原発に最も隣接している唐津市と伊万里市のこれまでの取り組みについて調査を行った。

## 委員会の意見

両市の避難計画は佐賀県原子力災害暫定行動計画に基づいて立てられている。嬉野市は30キロ圏内にはないが季節による風向きなどを考慮すると地域防災計画の中に原子力災害も取り入れるべきである。

九州電力との地域安全協定は、福岡・長崎県が締結され、唐津・伊万里市も締結に向けて努力されている。

嬉野市においても安全協定については、今後の市民の安全・安心を守るためにも取り組んでいく課題だと思われる。



▲唐津市で意見交換する委員会

# 嬉野市議会の面目躍如

## 視察対応で悲鳴

しれこい

嬉野市議会は他の近隣自治体に先駆け議会基本条例を制定し政策立案、行政の監視、情報公開等、積極的に議会活性化を進めてきた。

全国的に議会基本条例制定など議会活性化に対する関心が高まる中、今年度は9月末現在で20市町から嬉野市議会に視察がなっており、議会視察は全て議員で対応しており、他

議会との貴重な情報交換の場ともなっている。さらに、視察を受ける条件として原則的に本市への宿泊をお願いして、嬉野市議会としても少しでも観光に寄与していきたい。

全国的に議会基本条例制定など議会活性化に対する関心が高まる中、今年度は9月末現在で20市町から嬉野市議会に視察がなっており、議会視察は全て議員で対応しており、他

### 10、11月の来訪予定

月/日	県名	議会名
10/3	神奈川県	大和市
5	長崎県	壱岐市
23	佐賀県	江北町
24	福岡県	粕屋町
25	新潟県	上越市
31	大阪府	貝塚市
31	兵庫県	加西市
11/2	大分県	津久見市
6	山口県	下関市
13	熊本県	荒尾市
14	岡山県	浅口市
14	京都府	宮津市
20	北海道	音更町



▲議会改革に取り組む嬉野市議会

### 女性の声

### わたしの場所

林 由紀子



子育て等でバタバタしている私に、先日、夫が本を買ってきてくれた。

その本は「置かれた場所で咲きなさい」。タイトルに諭されると同時に、以前、稽古の合間に子ども達と交わした話を思い出した。

その日子ども達は、進路について「都会へ出たい!」「私は、地元がいい」と。

そんな中1人が「先生はどうしてここにおると?」。そこで私は、「若い頃は都会に憧れた。でも友達が、都会で当初の夢や目的は見失って、日常に埋没していくとば見たら、踊り続けるためにこそ、ここにおるとが、私にとってベストと思った。」そう答えた。定年退職後の父が“故郷の嬉野で民舞を”との思いで、母と舞踊教室を開いた事をきっかけに、長崎で生まれ育った私はこの地へ来た。そんな私も人々の温かさに触れ、今では嬉野こそ自分の居場所、人生最後はこの地の種となって落ちたい!とさえ思っている。

これから子ども達には、それぞれの場所が待っていて、私の父のように人生最後の地として故郷を、もしくは新天地を選ぶ人もいるだろう。そんな自らの場所として、この嬉野市が選ばれたとき、それらの人々を受け入れる魅力的なハード、ソフトの両面の充実が不可欠だ。子育て支援だけでも市町村のサービスの差を、今、私は実感するからだ。

さて、読書の秋。冒頭の本でも読んでみるか…と思うも、息子の泣き声! 嗚呼。

### 議会広報編集特別委員会

委員長	小田寛之
副委員長	山下芳郎
委員	山口要
委員	平野昭義
委員	織田菊男
委員	副島孝裕
委員	梶原睦也
委員	山口忠孝

かつて日本は高度経済成長時代の副産物の公害問題を人間の知恵で解決してきた歴史がある▼似ているが人間が解決できないものが原発である▼原発の一番の問題は高レベル放射性廃棄物処理の危険性である▼人間が作って人間の対処の限界を超えて手がつけられない状態に地球規模で進んでいる▼五木寛之の「下山の思想」にもあるように経済至上から大きな転換期に入り成熟した下山をこそ思い描く「林住期」に入ったと▼政権交代が賑わっているが、原発依存からの転換を目指す候補者が見当たらないのは将来が危うい▼「フクシマ」の教訓を生かして日本から世界へアピールすべき時である。(芳郎)

### コラム